

〔 横浜能楽堂 〕  
令和 3 年度業務報告書  
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

I 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 1,770.81㎡ 延床面積 5,695.93㎡
開館日	平成 8 年 6 月 28 日

II 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

III 指定管理に係る業務方針

1 基本方針の総括

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止を主軸とした施設運営、事業実施を  
通年で実施しました。鑑賞を控える傾向が続き集客は全体的に低調となり、また貸館について  
も活動を縮小または休止する団体が複数あり、厳しい状況が続きました。

本年度は指定管理第 3 期の最終年にあたります。第 3 期の経営方針である「質の高い事業の  
実施、古典芸能専門施設としてのブランドの確立」では、客席数制限などの感染症対策を行  
いながら公演を継続しましたが、開館 25 周年記念として計画していた特別公演シリーズ等を次  
年度に延期しています。より安定した状況下で上演することが作品、演者そして観客にとっても

重要であると判断したためです。「子どもを対象とした事業の強化」は通年で計画通りの事業を実施しました。広報の工夫等により、参加者が大幅に増える事業もあり、能楽堂ニーズが高い分野であることを再認識しました。「新規利用開拓と利用率の向上」では、活動を休止する団体がある一方で邦楽などの新規の稽古利用が入り、継続しています。「老朽化に対する取り組みと利用者ニーズに応じた対応」では日々の点検や小破修繕に丁寧に取り組み、また利用団体の感染症対策に配慮しました。

## 2 令和3年度の業務の方針及び達成目標の総括

### 【全体業務について】

#### 1 施設管理について

利用者、来館者、出演者の皆様が安全、安心、快適に利用できるように努めました。開館25年目を迎えて建物・設備ともに経年劣化が一層進んできたことに加え、半導体不足によりメンテナンス用部品の入手ができなかったこともありましたが、委託業者等と情報を密にして在庫を確保するなど、施設の維持に努めました。感染症対策としての換気のために楽屋に網戸を増設しました。

#### 2 施設運営について

4月20日から9月30日まで「まん延防止等重点措置」と「緊急事態宣言」が発令され、施設利用の新規の受付を停止しました。感染症拡大防止を最重要事案と捉え、利用者に検温、手指消毒、換気など基本的な対策への協力を仰ぎました。

施設見学会は事前予約制で実施したところ、毎回定員に近い参加がありました。県を跨いだ移動など遠出を控える傾向のある中で、身近なところで安心して楽しみたいというニーズに応え、能舞台の魅力を伝える機会となりました。

#### 3 文化事業について

8月2日から9月30日の「緊急事態宣言」期間および3月の「バリアフリー能」は障がいのある方の参加が多い公演であるため自主的に50%定員で実施しました。6月に開館25年を迎え、「身近に親しむ能楽堂」を実施し、地域の方々に感謝の気持ちを伝えました。当初計画していた開館25年を記念した特別公演シリーズ「三老女」シリーズはよりよい環境で上演するため令和4年度に延期することとしました。100%設定で完売する公演もありましたが、全体的な集客は回復していません。

新たな取組として、みなとみらい地区に開校した神奈川大学国際日本学部や、同大国際センターからの依頼で、大学生や海外で日本語を学ぶ学生を対象にした講義（対面、オンライン）で事業担当職員がレクチャーを行いました。昨年度から整備を進めているオンラインコンテンツも活用し、能狂言や能楽堂について紹介しました。

IV 業務の取組と達成指標

1 施設管理

(1) 施設及び設備の維持保全及び管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全に努めます。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全を実行しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①文化財（能舞台）の適切な保護</p> <p>②中長期的な視点による総合的な施設（建築物）、建築設備、舞台設備、備品等の保守管理の遂行</p> <p>③清掃、廃棄物処理及び環境への配慮等、植栽管理業務等の環境維持管理業務の実施</p> <p>④駐車場管理業務の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日々の手入れと点検を実施し、必要に応じて専門業者による管理・メンテナンスを行います。</p> <p>■職員および施設管理委託者による毎日の巡回と目視点検により不具合の早期発見に努めます。</p> <p>■施設利用後の速やかな点検の実施</p> <p>■台風・大雨等自然災害時の事前準備対策の強化</p> <p>■台風・大雨後の巡回点検強化</p> <p>□建物設備管理に起因する過失事故0件</p> <p>□アンケート 快適評価4.0以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■施設全体について、業務の基準に記されているとおり適切に管理しました。</p> <p>（主な事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内各所ダウンライトの一斉更新（機器老朽化及び蛍光灯廃番に伴いLED化）</li> <li>・1階ロビー排煙窓ワイヤー交換（劣化により安全性が担保できないため交換実施）</li> </ul> <p>■設備管理者による定期的な巡回及び利用後の状態確認を職員が行い、不具合発見時には迅速にスタッフ内で共有しています。</p> <p>■施設利用後、職員点検を行った後に警備員が最終巡回を行い、施錠等安全確認を徹底しました。併せて利用後の施設各所の消毒を実施しました。</p> <p>■台風、積雪などについて事前情報を収集し、対策に当たりました。</p> <p>■台風・大雨後は速やかに点検しました。地震発生時も早急に点検確認しました。</p> <p>□0件 業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。</p> <p>□快適評価 4.37</p>

	<p><input type="checkbox"/>環境維持管理に起因する過失事故 0 件</p> <p><input type="checkbox"/>駐車場の保守点検年 2 回以上</p> <p><input type="checkbox"/>駐車場および車両に起因する過失事故 0 件</p> <p><input type="checkbox"/>備品（収蔵庫）管理 害虫駆除年 2 回以上</p> <p><input type="checkbox"/>植栽管理 年 2 回以上</p>	<p>※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からアンケートの積極的な呼びかけを行っていないため従前より回答数が減少しています。</p> <p>[主なご意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレへの洗浄器設置要望</li> <li>・本舞台見所椅子の改善要望（傾斜、振動、配置等）</li> <li>・新型コロナウイルスに関する館内マナーへのご意見（場内での会話、鼻マスク）</li> <li>・公演マナー/感染拡大防止に関する声掛け要望</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 0 件 業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。</p> <p><input type="checkbox"/> 9/14 及び 3/25 実施 業務の基準に基づき適切に管理しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 0 件 車で来館されるお客様がスムーズかつ安全に利用できるよう警備員と協力して対応しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 6/7、12/13 実施 貴重な装束や能面等の収蔵品をカビや害虫から守るため、業務の基準に基づき温湿度及び塵芥管理と害虫駆除を行いました。</p> <p><input type="checkbox"/> 6/22、7/15-7/26、9/29-10/4、11/15-11/19、1/13（松の雪吊り）、1/20-1/26 計 6 回実施。 植栽管理委託業者が変更となりましたが、近隣住民と十分な調整のもと実施しま</p>
--	---	--

		<p>した。また臨時対応として建物屋根に枝が触れる可能性のある高木について保全の観点から別に伐採を行いました。</p>
--	--	---

(2) 小破修繕への取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日常点検を行い問題箇所迅速に対応します。</p>		
<p>[成果についての振り返り]業務の基準に従い、日常点検と問題箇所対応を迅速に実施しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①日常の管理・毎月の点検における不具合・不調箇所を発見し、早期の小破修繕等の対応</p> <p>②利用者の安全に関わる事案への最優先対応</p> <p>③不具合箇所等の市への報告による情報共有の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日常の巡回点検、毎月実施する定期点検の中で不具合・不調箇所の早期に発見に努め、部品交換や小破修繕を行います。</p> <p>■故障、不具合については速やかに横浜市と共有します。</p> <p>■問題箇所については施設管理チームから助言をもらい対応します。</p> <p>■修繕を検討すべき不調箇所はモニタリングを通じて横浜市と情報共有と対応・相談を行います</p> <p>■利用者の安全に関わる事案については、直ちに横浜市に報告し対応を協議します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■日常の管理、毎月の点検で、早期発見と適切な修繕実施/対応に努めました。また横浜市施工の大型工事（雑排水/汚水槽排水ポンプ交換工事）についても、限られた工期の中で利用者に影響を与えることなく安全に工事が実施できるように調整しました。</p> <p>■個別の案件については都度情報を共有するとともに、継続案件についてもモニタリング時に共有しています。</p> <p>■財団所管他施設の施設管理担当者とノウハウを共有し対応しています。また施設管理委託先の知見に基づくアドバイスも活用しました。</p> <p>■モニタリング時に情報を共有したほか、重要案件については発生後速やかに情報共有しました。</p> <p>■直接利用者の安全に関わるような事案は発生しませんでした。</p>

(3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各種事故等対応マニュアルの運用、整備</p> <p>②事故防止策、緊急時（防犯）対応</p> <p>③感染症対策等衛生管理の方針の策定</p> <p>④緊急時の連絡体制、防災に対する取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各種マニュアルを整備し備え置きします。</p> <p>■職員、補助職員、委託業者（清掃員）による施設内巡回等による速やかな対応を行います。</p> <p>■緊急連絡網を作成し連絡体制を構築します。</p> <p>■計画時点では新型コロナウイルス感染症の今度の動向が見通せない状況にあります。状況の変化に応じて設置者（横浜市）と連携し、適切に対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■危機管理マニュアルを作成し館内で共有しました。</p> <p>■巡回のほか監視カメラ、機器モニタリングにより危険や不審者、要救護者を早期に発見できるよう注力しました。また、利用状況に合わせたこまめな施設管理などにより事故防止と防犯に努めました。</p> <p>■館内の緊急連絡網を作成し職員全員が携帯、夜間、休日問わず速やかに報告・連絡・相談できる体制を整えました。深夜の地震の際には時間に関わらず警備担当者が電話で状況報告を行うことにより速やかに状況を把握しています。</p>

(4) 防災に対する取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各危機管理マニュアルの整備及びそれに基づく訓練の実施</p> <p>②消防訓練（年2回実施）</p> <p>③指定管理者本部からの情報提供</p> <p>④外国人来場者への案内</p> <p>⑤延命講習の受講</p> <p>⑥汚物処理研修</p> <p>⑦救急時の医療機関への搬送</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□消防訓練（避難誘導訓練を含む） 年2回実施（外国人来館者・障がい者を想定した内容含む）</p> <p>■消防訓練をより現実に則した状況で実施します。</p> <p>□消防設備の取扱研修 年2回実施</p> <p>□普通救命講習1を全職員が受講済とします。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□7/12、1/17 合計2回実施しました。実際の火災を想定して、防災監視盤と放水消防設備の基本操作、発報から避難誘導までの基本動作を繰り返して訓練しました。</p> <p>□配置職員 受講済</p>

	<input type="checkbox"/> ノロウイルス対応等研修 年 1回以上 <input checked="" type="checkbox"/> 救急時は救急医療機関を紹介、搬送の手配をします。また、事務室及びチケットブースで近隣の診療所や救急相談センターの情報等を共有します。	<input type="checkbox"/> 1/17 ノロウイルス対応等研修をおこないました。 <input checked="" type="checkbox"/> 7/10 施設利用者体調不良による救急要請に対応しました。
--	--	---

## 2 施設運営

### (1) 能楽等の公演、稽古、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[目指す成果] 第3期指定管理提案における施設利用率及び利用料金収入の達成に取り組みます。</p> <p>[成果についての振り返り] 緊急事態宣言が発令された8、9月の2か月間は新規利用を制限しました。キャンセルや延期が続き、施設利用率および利用料金は目標を下回りました。引き続き利用者に感染症対策への協力を仰ぎました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①適切な施設の提供、運用</p> <p>②貸館の利用率が高まる工夫による施設の利用促進</p> <p>③新規の利用者を増やすための工夫</p> <p>④指定期間における利用料金収入、利用率の考え方、利用率の達成</p> <p>⑤貸館、舞台の適切な運営体制の整備</p> <p>⑥要望・苦情への対応、職員における共有</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>開館時間：午前9～午後10時 受付・チケット販売：窓口 午前9時～午後6時 カルチャースタッフ2名以上で対応 貸館受付：午前9～午後8時</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用料金の設定：現行の利用料金体系を継続 教育機関の貸館利用については半額減免制度を継続します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受付方法：横浜市能楽堂条例施行規則に則り、能狂言とそれ以外の古典芸能で受付開始日を変えて受付します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支払方法：現金または払込で収受します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>古典芸能鑑賞会、施設見学会等について学校や旅行代理店にプランを提案します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>利用者から開館時間前後の利用要望はなく、指標どおりに施設を提供しました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>横浜市能楽堂条例及び同施行規則に規定される横浜市内の教育機関のほか、市外・県内外の教育機関の利用を促し、適切に運用しました。教育機関の半額減免制度による学校鑑賞会利用は1件でした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>横浜市能楽堂条例施行規則に則り、利用内容に合わせ、受付開始日を変えて受け付けました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現金または払込で収受しました。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>達成指標のとおり実施しました。旅行代理店教育旅行部門116か所に「能楽</p>

	<p>□アプローチ件数 15 件、商談件数 2 件</p> <p>■利用案内の DM 送付等を実施し貸館の周知を行います。</p> <p>□利用案内 DM 送付 近隣住民ポスティング等 2 回/年 友の会会員 700 件/月 学校等古典芸能関連サークル 10 件</p> <p>■初めての朝割、初めての U25 割 (25 歳以下)、応援割 (ワークショップ修了者)、いつでも本舞台でお稽古、を実施します。</p> <p>□利用料金収入 14,800 千円</p> <p>□施設目標利用率 本舞台 (日) 35% 第二舞台 46% 研修室 30%</p> <p>□開館時の運営体制：1 階受付カルチャースタッフ 2 名以上、事務室 職員 2 名以上を基本とし、夜間時間帯は利用状況に応じて 1～3 名</p> <p>□本舞台利用時の運営体制：舞台技術者 (委託) による対応</p> <p>□本舞台における公演・発表会の開催時の運営体制：カルチャースタッフ 1～4 名を増員</p> <p>■事務室の職員全員が貸館に対</p>	<p>体験・鑑賞会ご提案」を提案しました。</p> <p>□アプローチ件数 11 件 商談件数 7 件</p> <p>■DM 送付、ポスティング、HP 公開を実施しました。</p> <p>□本舞台で稽古、割引プランの利用について、近隣住民 3 回/年、友の会会員への DM3 回(7 月橋がかり、12 月チラシ、3 月橋がかり各約 700 通)、HP スタッフブログ橋がかり公開、古典芸能サークルには未実施。</p> <p>■「初めての朝割」3 件/3 回、「応援割」10 件/11 回、「初めての U25 割」3 件/3 回の利用がありました。本舞台を 1 時間から稽古で利用できる「いつでも本舞台でお稽古」の利用実績 1 件。</p> <p>□12,843,150 円</p> <p>□利用率 本舞台(日) 35% 第二舞台 53% 研修室 平均 33%</p> <p>□1 階受付は補助職員を常時 2 名、事務室職員は 2 名以上を基本にシフトを組み、貸館に対応しました。</p> <p>□本舞台利用時は舞台技術者 1 名を配置しました。</p> <p>□達成指標どおり実施しました。本舞台での本番利用の際は、緊急時の避難誘導など安全を確保するため補助職員を増員しました。</p> <p>■マニュアルを全職員で</p>
--	---	--



	<p>応できるよう、マニュアルを備え置きます。</p> <p>■貸館の手引きを備え置きし、利用者に施設利用に関する情報をわかりやすく伝えます。</p> <p>■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』（公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援）を実施します。</p> <p>■能楽以外のご利用に際し、能舞台に固有の利用についてのサポート、当日支援を貸館チーム中心に行います。</p> <p>■毎月発行の催し物案内広報物「橋がかり」に本舞台・第二舞台の公演・発表会等の情報を掲載し、貸館催事の広報に協力します。</p> <p>■公演ごとに実施するアンケートを分析し、お客様の要望・苦情を把握し対応します。</p> <p>■アンケート回収率の向上のための工夫を行います。</p> <p>□アンケート回収率 目標 15%</p> <p>■必要に応じ財団事務局、横浜市と情報共有します。</p> <p>■クレームについてレポートを作成し職員間で共有します。</p>	<p>共有しました。</p> <p>■達成指標とおりに実施しました。利用者との打合せにきめ細かく対応し、必要な情報はweb予約システムを活用して共有しました。</p> <p>■「日本全国能楽キャラバン！金春円満井会横浜公演」（1月）の広報・運営協力を実施。</p> <p>■「ミュージック・イン・ザ・ダーク」（MMH主催、12月）の運営サポートを実施。団体見学5件、旅行会社による修学旅行見学問合せ2件、団体鑑賞相談3件、音楽利用についての相談3件に対応しました。</p> <p>■毎月「橋がかり」を発行（毎月6,500部）、本舞台・第二舞台の公演・発表会等の貸館情報を掲載しました。</p> <p>□アンケート回収率 実績 14.2%</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から積極的なアンケート回収呼びかけを自粛しました。</p>
--	---	---

(2) 利用促進及びサービスの向上

[目指す成果]

新貸出プランなどプロモーションへの取り組みを継続し、かつお客様の満足度を高め、利用を促進します。

<p>[成果についての振り返り]          感染症の動向を見つつ、計画に沿ってプロモーションや広報を行いました。撮影利用は 12 件の利用がありました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各貸出施設の利用促進に対する取組み及びプロモーション          ②お客様からの意見箱の設置及び対応によるサービスの向上          ③物販サービスの実施          ④来館者及び外国人観光客に向けた Wi-Fi 用アクセスポイントの設置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各室について稽古利用ができることを SNS やちらしで周知します。  <input type="checkbox"/>利用案内 DM 送付（再掲）          近隣住民ポスティング等 2 回/年          友の会会員 700 件/月          学校等古典芸能関連サークル 10 件</p> <p>■Twitter や WEB ページを活用し貸館情報、利用紹介や案内を告知します。          ■本舞台の 1 時間単位での貸出に関する広報の実施          ■WEB ページでの施設空き状況の情報提供の検討</p> <p>■撮影利用、アフターコンベンション等の利用希望への積極的な対応。対応マニュアルの再検討。          ■公演利用者への付加サービスの提供のプラン作成</p> <p>■初めての朝割、初めての U25 割（25 歳以下）、応援割（ワークショップ修了者）、いつでも本舞台でお稽古実施（再掲）</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■橋がかり掲載（7 月、3 月）とちらし作成（8 月）し周知しました。  <input type="checkbox"/>本舞台で稽古、割引プランの利用について、近隣住民 3 回/年、友の会会員への DM3 回（7 月橋がかり、12 月ちらし、3 月橋がかり各約 700 通）、HP スタッフブログ橋がかり公開、古典芸能サークルには未実施。          ■Twitter と Facebook で稽古の会の発表会について広報しました。          ■橋がかり（7 月）に情報掲載しました。          ■クラウド型施設予約システムにて施設空き状況閲覧（次年度運用開始）の準備をしました。          ■達成指標のとおり実施しました。撮影利用実績 12 件、相談 11 件。          ■通常の付加サービスに加え、新型コロナウイルス対策への対応ノウハウ提供ニーズが多かったため、主催公演時の実例を示しながら運営アドバイスを行いました。          ■「初めての朝割」3 件/3 回、「応援割」10 件/11 回、「初めての U25 割」3 件/3 回の利用がありました。本舞台を 1 時間から稽</p>

	<p>■ 2階旧レストランスペースでの懇親会や昼食利用等の提案</p> <p>■ 意見箱の設置 ロビー1カ所、楽屋1カ所</p> <p>■ 新型コロナウイルス感染拡大防止上問題が無いと判断した場合には本舞台利用時にショップの営業を行います。</p> <p>■ オリジナル生落雁「鏡板」について、季節や催しものに応じた販売強化を行います。</p> <p>□ 鏡板 特別バージョン販売 年2回以上</p> <p>■ 物販・チケット代金の支払にクレジットカード・電子マネーの取扱いを実施します。</p> <p>■ フリーWiFi の提供を行います。</p> <p>ロビー・展示廊エリア 1台 常時提供</p>	<p>古で利用できる「いつでも本舞台でお稽古」の利用実績1件 (再掲)</p> <p>■ 感染症対策もあり懇親会や昼食利用はありませんでした。</p> <p>■ 計画通り実施し、ご意見を収集しました。</p> <p>■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部見学会等を除きショップの営業および「鏡板」の販売を休止しました。</p> <p>■ 計画通り実施しました。自主公演には電子チケットを導入し、購入時の利便性を向上させました。</p> <p>■ 計画通り提供しました。</p>
--	---	--

(3) 組織的な施設運営の取組、職員の確保・職能、配置及び育成

<p>[目指す成果]</p> <p>専門館ならではの事業の実施、施設の堅実な運営に向けて人材を配置・育成します</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>支配人の下、2名のチームリーダーがそれぞれ管理運営、来館促進を統括し、事業企画は2名のプロデューサーを中心に推進しました。プロデューサー、事業担当は大学の講義の講師も務め、専門性を活かし、学生に能楽や能楽堂について伝えました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>① 明確な責任体制の構築、勤務シフトの設定</p> <p>② 適切な休館日の設定</p> <p>③ 専門性人材の安定的確保と能力向上に対する方策の実施</p> <p>④ 求める役割を果たす責任者・職員の配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 管理運営チームリーダーが庶務労務、施設管理、経理を統括します。</p> <p>■ 来館促進等チームリーダーが貸館と施設広報を担い、利用率達成を目指します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 管理運営チームリーダーが庶務労務、施設管理、経理を統括しました。</p> <p>■ 来館促進及び能楽堂のプレゼンス向上を目的に来館等促進チームリーダーを配置し、各種割引実施、パーテ</p>

<p>⑤各研修の実施</p>	<p>■プロデューサーとなる企画制作担当職員は、先輩後輩のペア制をとることでOJTを行います。</p> <p>【配置要員】</p> <p>支配人 1名（常勤）          芸術監督 1名（常勤）          管理運営チームリーダー 1名（業務：管理運営）          来館促進等チームリーダー 1名（業務：来館促進、貸館営業）</p> <p>職員 6名          事業担当 4名（うち1名経理兼務）、庶務・施設1、広報営業1</p> <p>補助職員（カルチャースタッフ） 14名</p> <p><input type="checkbox"/>開館日数：335日  <input type="checkbox"/>施設点検のための休館日：年間30日（月2日、年末年始）</p> <p>■勤務体制</p> <p>【基本】芸術監督を除きローテーションでの勤務体制          主催事業や貸館内容に応じて勤務体制を調整</p> <p>基本となる勤務時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術監督 9:30～18:15</li> <li>・支配人以下の職員              A勤務 8:45～17:30／B勤務 13:15～22:00</li> <li>・補助職員（カルチャースタッフ）              A勤務 8:50～13:50／B勤務 13:15～18:15</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>バリアフリー研修（主催） 1</p>	<p>イー利用や撮影料金の適用及び広報等、貸館・来館促進事業を実施しました。</p> <p>■公演ごとに1事業2名体制を明確にし、OJTを実施しました。事業担当3名は財団の専門人材育成のための研修に通年参加しました。</p> <p>支配人 1名（常勤）          芸術監督 1名（常勤）          管理運営チームリーダー 1名（業務：管理運営）          来館促進等チームリーダー 1名（業務：来館促進、貸館営業）</p> <p>職員 6名          事業担当 4名（うち1名経理兼務、うち2名プロデューサー）、庶務・施設1、広報営業1</p> <p>補助職員（カルチャースタッフ） 14名</p> <p><input type="checkbox"/>開館日数：335日  <input type="checkbox"/>施設点検のための休館日：年間30日（月2日、年末年始6日間）</p> <p>■早番、遅番の2交代制を基本として午前9時から午後10時までの開館時間を適正な出勤人数で運営しました。</p> <p><input type="checkbox"/>3/2バリアフリー研修（主</p>
----------------	--	--

	<p>回</p> <p>■公文協・劇音協ほか外部セミナーの受講を推奨し、専門知識の習得に努めます。</p> <p>■財団主催研修・横浜市研修へ職員を参加させ資質向上およびスキルアップをはかります。</p> <p>■他都市の公演視察や施設見学により職員の企画・運営力向上をはかります。</p>	<p>催) 実施。映画の音声ガイド製作者の講義を通じて「視覚障がいのある方への音声による情報保障」という概念を実体験しました。</p> <p>■外部研修への積極的な参加は控えました。</p> <p>■財団主催専門人材研修やリーダーシップ研修に参加させました。</p> <p>■コロナ禍のため出張、視察については精選して実施しました。</p>
--	---	--

(4) 本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[目指す成果]</p> <p>横浜市の重要施策を踏まえて、真摯に取り組みます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>コンプライアンス、特に個人情報の適切な取り扱いについては財団事務局から提供される資料等を活用し、その重要性に留意して取り組みました。オンラインによる研修にも積極的に参加しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①個人情報保護</p> <p>②コンプライアンスの遵守</p> <p>③適正な情報公開</p> <p>④人権尊重</p> <p>⑤環境への配慮</p> <p>⑥市内中小企業優先発注</p> <p>⑦男女共同参画の推進</p> <p>⑧その他</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルに則り適切に対応します。</p> <p>□個人情報取扱研修 年1回</p> <p>■コンプライアンス委員会での情報共有を行います。</p> <p>■印刷物を中心にダブルチェックの徹底</p> <p>□全職員対象コンプライアンス研修 年1回</p> <p>□横浜市主催人権研修に職員を参加させます。</p> <p>■省エネルギー・節電・ごみ減量に取り組めます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルを全員で共有しました。</p> <p>□新採用カルチャースタッフを対象に実施しました。</p> <p>■財団コンプライアンス委員会(月次)資料を全職員で共有しました。</p> <p>■印刷物は支配人まで複数名で校正しました。</p> <p>□月1回の職員会議での説明、資料の回覧等で研修を行いました。</p> <p>□LGBTに関するオンライン研修を2名が受講しました。</p> <p>■事務室内各所に「可燃物」「プラ」のゴミ箱をセットで配置し、より徹底した分</p>

	<input type="checkbox"/> 市内中小企業への優先発注 全発注の9割以上 <input checked="" type="checkbox"/> 働き方改革の趣旨に則り、超勤の抑制、有給休暇の適切な取得に努めます	別に取り組みました。 <input type="checkbox"/> 市内中小企業への発注を原則としました。 <input checked="" type="checkbox"/> 休日出勤、超過勤務の事前申請を徹底しました。 平均超勤時間 9.8 時間/月
--	--	---

### 3 文化事業

#### (1) 能楽等の継承・振興・発展に向けた次世代育成、愛好者の拡大

<p>[目指す成果]</p> <p>敷居が高いと思われがちな能楽等古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>毎月開催している「横浜狂言堂」はその時々ガイドラインに応じて販売席数を変更しながら開催し、横浜能楽堂をベースに狂言を鑑賞したいという観客の期待に応えました。子どもや教員を対象とした事業は参加者が目標を大幅に超える事業もあり、教育関係者や子どもたちとの連携の可能性を強く感じることができました。「バリアフリー能」は新たなサポートメニューを取り入れて開催し、字幕や音声解説を付した動画も公開しました。また新しいオンラインコンテンツとしてやさしい日本語、字幕付きの能楽堂紹介動画をリリースしました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①能楽等の古典芸能の継承、振興や発展に向けた公演、講座・ワークショップの実施</p> <p>②「クリエイティブ・インクルージョン」の趣旨を踏まえすべての人が参加できるとともに、ユニバーサル対応に向けた様々なサポートを整えた公演や体験講座等の実施</p> <p>③「クリエイティブ・チルドレン」の考え方に基づく、次代を担う子どもたちや教育関係者を対象とした施設内での能楽等の学習・体験機会、古典芸能に触れるきっかけの提供</p> <p>④子どもたちの感性、創造性を育み、意欲を発展させることのできるプログラムや継続性のある事業の実施</p> <p>⑤市内の子どもたちに対して文</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>普及公演「横浜狂言堂」全12回 毎月第二日曜日開催、解説付き で低廉な料金設定により初心者だけでなく、鑑賞回数を増やしたい層にも魅力ある公演です。券売率70% 入場者数340人/回 (12回 4,080人)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>毎月第2日曜日に実施 普及公演「横浜狂言堂」(全12回) 4月～7月公演については、販売期間中に感染症対策ガイドラインが変更になったことにより、客席の一部を定員の約50%に設定しました。 ・平均券売率83.1%、入場者数302人/回(12回3,626人) 4/11:券売率89.6%、入場者数258人、5/9:券売率91.3%、入場者数348人、6/13:券売率71.8%、入場者数253人、7/11:券売率65.6%、入場者数231人、8/8:券売率100%、入場者数205人、9/12:券売率99.6%、入場者数213人、</p>

<p>化芸術に触れる機会を提供するため、「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」にコーディネーターとして参画し学校プログラムを実施</p> <p>⑥能楽等の次世代の育成に向けて、若手の出演者等の積極的な登用</p> <p>⑦古典芸能の魅力を伝え、興味や関心に応じて体験することのできるワークショップや講座等の開催</p> <p>⑧愛好者の定着に向けた古典芸能に触れる際や活動にあたってのサポート・相談体制を整え、継続的に活動できる機会の提供</p>		<p>10/10：券売率 56.3%、入場者数 231 人、11/14：券売率 81.0%、入場者数 377 人、12/12：券売率 94.1%、入場者数 428 人、1/9：券売率 78.9%、入場者数 354 人、2/13：券売率 83.9%、入場者数 358 人、3/13：券売率 85.6%、入場者数 368 人</p> <p>若手からベテランまで能楽界を代表する演者が月替わりで出演し、毎月第二日曜日に開催。解説付きで手ごろな価格設定により、初心者からリピーターまで、多くの方に狂言に親しんでいただける機会となりました。</p> <p>[アンケート]</p> <p>楽しく拝見しました。東京へ行かなくても狂言をみられるのは助かります(4月)、若さあふれる演者とベテランの舞台と、とても面白かったです。装束もキレイでチケット代がとても安く感じました(7月)、演目自体も堪能しましたが、解説が、ストーリーを追うのではなく、格好の見所や歴史的背景、耳慣れない言葉の解説などがあったことがとてもよかった(6月)、初めての狂言の鑑賞でしたが、解説やパンフレットのおかげで内容もわかり、十分楽しめました。古典芸能に触れられて感激しました(10月)、狂言堂のおかげでとても狂言が身近になりました。素</p>
---	--	---

	<p>□3/19 普及公演「バリアフリー能」 1回</p> <p>「すべての人に能楽を」というコンセプトで、障がいのある方へのさまざまなサポートを用意し実施します。障がい者向け事前見学会 2回、券売率30% 入場者数 144人・介助者1名無料</p>	<p>晴らしい企画だと思います(2月)</p> <p>□3/19 開催</p> <p>販売座席数は障がいのあるお客様でも安心してご来場いただけるように 50%以下で設定しました。</p> <p><b>【介助者含まず】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・券売率 67.8%、入場者数 149人</li> </ul> <p><b>【介助者含む】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・券売率 98.9%、入場者数 193人</li> </ul> <p>点字による広報物、舞台触図、手話通訳、詞章の用意、触れる能面・能舞台展示、字幕配信、音声ガイド等各種サポートに加え、今年新たに聴覚障がい者向けに音を振動で体感できる座席「ボディソニック」を導入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/18、19 バリアフリー施設見学会 2回 (参加者数：2/18 9人、2/19 6人)</li> <li>・ホームページに掲載中のオンラインコンテンツ「おうちで楽しむ能楽堂」に、やさしい日本語による動画「おしえて！横浜能楽堂のひみつ」(字幕付き)を追加。また、公演の映像に字幕・音声ガイドをつけた動画「バリアフリー能」を配信しました。</li> <li>・公演後の意見交換会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。</li> </ul>
--	---	--



	<p>□8/1 普及公演「こども狂言堂」 1回 夏に親子で狂言に親しむ公演。初めて狂言を観る子どもたちでも楽しめる演目を中心に、人間国宝により狂言の面白さを伝えます。こども料金を抑え、家族で来場しやすい価格設定とします。券売率 70% 入場者数 340人 こども料金 500円</p> <p>□8/1 特別講座「先生のための狂言講座」 1回 普及公演「こども狂言堂」終了後、教科書掲載の狂言「柿山伏」を取り上げ、狂言師を講師に、国語科における狂言単元の活かし方について教師向け特別講座を開催します。参加者数</p>	<p>[アンケート] プログラム冊子や字幕サポートにより大部分の情報が補完され、話を理解し、追うことができました。1年に1回でもこのような取り組みがあることは、素敵なことだと思いました。ありがとうございました。</p> <p>□8/1 実施 普及公演「こども狂言堂」 ・券売率 89.7%、入場者数 362人 ・小学校の国語の教科書に採用されている「柿山伏」を含む狂言 2曲を、人間国宝の山本東次郎による解説付きで上演しました。</p> <p>[アンケート] こども：・いろいろ想像ができておもしろかった。 ・公演を観て感動した。狂言や能、日本舞踊などを体験してみたい。 大人：・息子が狂言に興味があって親子で初めて観ましたが、とても面白かったです。最後のお話の中で狂言のことだけではなく、大切なことも教えていただき勉強になりました。</p> <p>□8/1 実施 特別講座「先生のための狂言講座」 1回 参加者 196人 講座での経験を授業で子どもたちに伝え、古典芸能への興味につなげることを目的とし、教師を対象に開催。今年で 5 回目の開催。講座終了後に実施した施設見学</p>
--	---	---

	<p>50人以上</p> <p>□8月 こども狂言ワークショップ 入門編 3日間 山本東次郎家を講師に迎えて夏休みに小・中学生の子ども対象のワークショップを開催します。参加者数20人以上</p>	<p>会は116人の参加があり、能舞台の特徴について理解を深めていただきました。</p> <p>[アンケート]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで狂言について何もわからないまま指導することに心苦しさを感じていましたが、狂言の“心”に触れることができ、非常に感銘を受けました。</li> <li>・実際に目の前で見る事ができてよかった。</li> <li>・解説が大変わかりやすく、その思いも伝わりました。丁寧に説明してくださり、ありがとうございました。</li> </ul> <p>□8月3-5日実施、参加者数26人</p> <p>&lt;アンケート&gt;</p> <p>こども：・謡がむずかしかった。足のはこびがたのしかった。(2年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいぎ正しいことをたくさんして、日常でも使えるので、参加してよかったです。先生の声はどこからでてるかがふしぎ!(5年生)</li> </ul> <p>大人：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供に本物を体験させてあげることができました。狂言は親も子も初体験でしたが先生方の所作の美しさや声のはりに子供なりに本物を感じて胸にひびくものがあつたからこそ3日間、真剣に取り組めたのかと思います。すばらしい価値を親子で共有できました。</li> <li>・コロナ禍で小学校の体験学習などの機会がとても限</li> </ul>
--	---	---

	<p>□ 1-3月こども狂言ワークショップ 卒業編 10回 入門編の参加者から希望者を募り、舞台での発表を目標としたワークショップを開催します。参加者数5人</p> <p>□ 3月下旬横浜こども狂言会 1回 こども狂言ワークショップでの稽古の成果を、OB・OG組織である「いろはの会」メンバーと一緒に本舞台で披露します。こども狂言ワークショップ卒業編からの参加者5人、いろはの会の参加者含め15人 入場者数100人</p> <p>■「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」からの要請に応じて学校プログラム、狂言・古典芸能を軸にコーディネートを行います（昨年度実績5校）。</p> <p>■通常の公演企画を通じて実力ある若手の演じ手を起用していきます。</p> <p>■横浜能楽堂主催ワークショップの修了者が継続的な稽古を支援するため、施設利用料の減免制度「応援割」を実施します。</p>	<p>られています。このような貴重な先生の教えで古典芸能を経験させて頂いて感謝申し上げます。</p> <p>□稽古10回実施（1/11、18、28、2/3、16、25、3/4、11、16、24）参加者数12人</p> <p>□3/26 実施 参加者 29人 来場者 145人 卒業編の12人と「いろはの会」17人が本舞台で成果を披露しました。</p> <p>■5校実施 11/11 さちが丘小、11/12 嶮山小、11/29 みなとみらい本町小（以上、狂言）、12/7・10 幸ヶ谷小、12/21 並木中央小（以上、邦楽・箏）</p> <p>■11/21 普及公演では金剛流の宇高竜成、12/11 普及公演「眠くならず楽しめる能の名曲」では、観世流の谷本健吾を、2/26 普及公演では宝生流の高橋憲正をシテに起用しました。その他公演でも若手の演じ手を起用しました。</p> <p>■応援割 7件/12回の利用がありました。</p>
--	--	---

(2) 能、狂言その他の古典芸能の振興・発展

<p>[目指す成果]</p> <p>芸術性と学術性を基盤とした能楽ファンの期待に応える公演や、初心者にも配慮した公演等により、能楽の振興と普及、新たな鑑賞者の創造に取り組みます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>ガイドラインに基づく販売座席数の制限を敷く公演もありましたが、発売や公募を始めた公演、ワークショップ、講座についてはすべて計画通りに実施しました。集客回復はまだまだ時間がかかることが見込まれますが、リアルな公演ならではの感動を提供しました。新たに初心者に向けて公演前に作品の見どころや出演者の声を届ける解説動画の公開を行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①本舞台・第二舞台を活用した公演等の開催</p> <p>②横浜能楽堂ならではの独創的で発信性の高い公演の実施</p> <p>③能楽等の鑑賞者を広げ、愛好者の定着を図るため、能及び狂言等の基本知識や曲の見どころ・背景などを分かりやすく伝える等の創意工夫を凝らした公演の開催</p> <p>④文化専門施設として蓄積した高度かつ専門的なノウハウを発揮し、横浜や横浜能楽堂ならではの発信性ある魅力的な公演・事業等の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを、第二舞台を会場に開催します。ワークショップ2講座4回以上、申込率80%、参加人数16人/回</p> <p>□5/29 企画公演「東次郎 家伝十二番」結び 1回</p> <p>平成31年度中止となった企画公演「東次郎 家伝十二番」の第12回の振替として開催します。</p> <p>券売率75% 入場者数365人</p> <p>□10/17 特別公演 1回</p> <p>宝生流宗家宝生和英による能</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップ 8講座18回。申込率103%、参加人数17人/回</p> <p>□5/29 実施</p> <p>販売客席数を定員の約50%に減らして設定しました。</p> <p>券売率100% 入場者数231人</p> <p>狂言「文蔵」「若菜」の2番を上演し、山本東次郎家の魅力を伝えることができる、企画公演「東次郎 家伝十二番」の締めくくりに相応しい公演となりました。</p> <p>企画公演「東次郎 家伝十二番」の最終回で話題となりチケットは早々に完売しました。</p> <p>[アンケート]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年ごしで最終回が見られて良かった。</li> <li>・心待ちにしておりました。その期待以上の内容でした。</li> </ul> <p>□10/17 実施 特別公演</p> <p>券売率64.8% 入場者数</p>

	<p>「井筒」他を上演します。 券売率 75% 入場者数 365 人/ 回</p> <p>□11、2月 普及公演 2回 初心者でも分かりやすいよう、 事前にインターネットを利用 した解説動画の配信や、上演中 の字幕配信で鑑賞のサポート を行い、開催します。 券売率 65%/入場者数 315 人 (2回 630 人)</p>	<p>279 人 宝生流宗家・宝生和英が初 めて「井筒」のシテを演じま した。活躍目覚ましい若手 能楽師による名曲の披キと いう貴重な機会となりました。 周囲の配役も当代の名 手が揃い、格調高い舞台が 展開されました。</p> <p>&lt;アンケート&gt; 井筒のシテの舞も謡も一つ 一つの所作がとても美しく 心に残りました。節木増の 面も最後の方では表情が 色々出ているようで紀有常 の娘の気持ちが動作とあい まってよくわかりすばらし かったです。</p> <p>□11、2月 普及公演 2回 券売率 78.9%、入場者数 329 人/回 (2回 658 人) 11/21：券売率 70.1%、入場 者数 299 人、2/26：券売率 87.6%、入場者数 359 人、 解説付きの能狂言の公演を 実施。当日は、スマホ・タブ レット向けの解説字幕を配 信しました。2/26 公演では 日英 2 か国語による字幕配 信を行い、外国に所縁のあ る方が 30 名来場するなど、 能狂言の魅力をより多く の方に伝えることが出来まし た。11/21 公演では事前に出 演者のインタビューなど関 連動画 6 本を配信し、合計 1500 回以上の再生がありま した。</p> <p>&lt;アンケート&gt;</p>
--	--	--

	<p>□12/11 普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」 1回 能楽初心者が退屈せずに楽しめる曲を選び、解説付きで開催します。 券売率 70%/入場者数 340 人</p> <p>□ 3 月 企画公演 琉球舞踊公演 琉球舞踊の公演を開催します。 券売率 75% 入場者数 365 人/回</p>	<p>演じる前の解説が秀逸であったと思います。見どころが説明されていたため演じる展開を追いやすく、また動作の意味するところも理解しやすかったです。</p> <p>□12/11 実施 普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」 券売率 100%、入場者数 455 人 今年「鬼」をテーマに、能の人気曲「紅葉狩」と、狂言「節分」を、横浜能楽堂芸術監督による解説つきで上演しました。能の一般的なイメージを覆す「眠くならない」というキャッチフレーズにより、能楽初心者から愛好家まで幅広い関心を集め、能楽の魅力を広い層に伝える機会となりました。 〔アンケート〕 ボリュームたっぷりの華麗な舞台上で、眠くなることなく楽しめました。最初のお話も大変理解に役立ち、為になりました。</p> <p>□公演中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）</p>
--	---	---

(3) 能楽堂自体の魅力の発信

<p>[目指す成果] 令和 1 年度の実績に基づき、ユニークベニューや MICE 利用の対応充実を図り、和の文化施設として今までにない能楽堂の魅力を発信し認知度の向上をはかります。 [成果についての振り返り]</p>
--

インバウンドや国際会議の開催がなくこの件では実績がありませんでした。和のワークショップはどのプログラムも好調で施設見学と合わせて楽しんでいただくことができました。

<p>[取組内容]</p> <p>①貸館営業、広報営業担当の人員配置</p> <p>②能舞台の文化的価値や日本の伝統文化の発信、プログラムやユニークベニュー等の企画、多言語対応を含む受入を行うことによる、横浜や横浜能楽堂の魅力や認知度の向上</p> <p>③観光・宿泊プラン、国際会議等、MICE と連携し、アフターコンベンション等への施設提供</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□MICE 関連展示会等視察 1 回以上</p> <p>■提案可能な日本文化体験プログラムの再検討</p> <p>■提案可能な公演鑑賞パッケージの再検討</p> <p>□公演または文化体験プログラムのリリース 1 本以上</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを、第二舞台を会場に開催します。</p> <p>ワークショップ 2 講座 4 回以上 申込率 80%、参加人数 16 人/回 (再掲)</p> <p>■英語接客が可能なスタッフが「ENGLISH OK!」バッチ着用</p> <p>■その他言語の対応可能なスタッフが「◎◎ OK!」バッチ着用</p> <p>■能・狂言の英文解説をすべての演目で用意します</p> <p>■インターネットチケットサイトの英語版を提供</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□12/8YCVB 主催ユニバーサルツーリズム研修参加</p> <p>■本舞台での体験プログラムや和の物づくり体験について再検討しました。</p> <p>■装束をつけた仕舞と解説のプログラムを YCVB に提案し、2/21 横浜開港資料館で実施しました。</p> <p>□7 本</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを開催しました。8 講座 18 回。申込率 103%(定員 332 に対し申込 342)、参加人数 17 人/回</p> <p>■年間を通じてバッチを着用し接客しました。</p> <p>■英語・ポルトガル語のバッチを着用しました。</p> <p>■英文がないものは新たに翻訳を発注し、全公演で英文解説を提供しました。</p> <p>■英語版インターネットチケットサイトで販売しました。</p>
--	--	--

(4) 能楽等に関する地域等との連携事業

<p>[目指す成果]</p> <p>地域との連携を密にし、能楽堂の地域文化資源としての魅力を PR します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>地域とのつながりで開催してきた「横浜能」「横浜かもんやま能」を今年度は開催することができました。見学会は定例、スペシャル、開館 25 周年と計 13 回開催。身近な会場で文化に触れたいと多くの参加がありました。近隣 5 館の公共文化施設で実施している「横浜・紅葉ヶ丘まいらん」では 5 つの連携、共同事業やバリアフリーに関する情報交換を行いました。</p>
---

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>①地域の文化拠点としての役割や期待を踏まえた地域、地元企業等との連携、能楽等の振興に資する活動の実施</p> <p>②能楽師を中心とした演者、能楽等の団体、愛好者の団体等との幅広いネットワークの形成</p> <p>③生徒学生の職場訪問・職業体験やインターンシップ等の受入、地域と連携した愛好者や人材の育成支援</p> <p>④近隣小学校への能、狂言の学習サポート</p> <p>⑤地域住民への公演告知等による能楽堂や古典芸能に触れる機会の提供</p> <p>⑥施設見学会の開催</p> <p>⑦地域の実演家・企業・団体等と連携した能の公演の開催</p> <p>⑧近隣団体との協働事業への参加、近隣施設との協力・連携</p>	<p>□6/5 第 68 回横浜能 1 回 横浜能楽連盟と共催し、横浜ゆかりの能楽師による能「巴」を上演します。前年度中止公演の振替。 券売率 70% 入場者数 340 人</p> <p>■中・高校生の職場体験受入 □小・中・高校の見学・学習サポート 3 校</p> <p>□先生のための見学会の案内 1 回</p> <p>■児童・生徒向け見学パンフレットの用意 ■10/16「第 38 回横浜かもんやま能」1 回 ふるさと西区推進委員会、西区役所と共催し、事業運営・広報協力を行います</p> <p>□施設見学会 月 1 回開催 年間 12 回以上実施 うち 3 回をスペシャル企画として、地域のにぎわいに貢献します。また、開館 25 周年に地域の皆様へ感謝の意を表し、特別施設見学会を行いま</p>	<p>□6/5 開催「第 68 回横浜能」券売率 93.4%、入場者数 321 人 人間国宝・野村萬による狂言「見物左衛門」、喜多流・中村邦生による能「巴」を上演しました。コロナ禍の影響で目標には達しませんでした。が、横浜能楽連盟と協力して広報を行い、アンケート回答者の内、50%が横浜市内からの来場し、86%が公演内容に満足・やや満足と回答しました。</p> <p>■0 件 □職場訪問学習 1 校 (11/18, 19)、能楽体験学習 1 校(3/3)を受入れました。 □8/16 特別講座「先生のための狂言講座」終了後に先生向けの施設見学会を実施しました(1回)。 ■子ども向けの見学パンフレットを配布しました。 ■10/16 開催「第 37 回横浜かもんやま能」入場者数 199 人(感染症対策のため座席数 50%制限) 狂言「察化」、能「羽衣 霞留」を上演。広報協力、チケット販売代行、当日進行を担いました。 □施設見学会を毎月開催、年間 13 回実施しました。うちスペシャル企画は 3 回、開館 25 周年として「身近に親しむ能楽堂」を開催(6/26)</p>



	<p>す。</p> <p>□「伝統文化一日体験オープンデー」開催 1回/年 能楽体験、和の工作等を館内各所で実施し、能楽堂を開放します。近隣施設との連携や広報の拡充により、初めての来場者増加を目指します。</p> <p>□近隣住民へのちらし配布 2回/年（利用案内含む）</p> <p>■WEB ページ、ツイッターの多言語化</p> <p>□みなとみらい 21「さくらフェスタ 2021」への参加</p> <p>■「野毛まちなかキャンパス」実行委員会との協働</p> <p>■MMcc（みなとみらいコミュニティクラブ）との協働</p> <p>□西区町歩き企画への協賛・共催 1回以上</p> <p>■紅葉ヶ丘エリアの5館連携について、館長会・連絡会に参加し、広報等で連携します。</p>	<p>□8/16 に伝統文化 1 日オープンデーを開催。仕舞鑑賞、舞台裏見学、小鼓体験、太鼓体験、科学工作、アートハットづくり、匂い香づくりを実施しました。近隣の神奈川県立青少年センター、横浜市民ギャラリーと連携。初来館者率 47% 来館者数 372 人</p> <p>□近隣住民へちらしを配布しました。13 回/年</p> <p>□みなとみらい 21「さくらフェスタ 2022」へ参加しました。また、戸部大通り商店会による「甘酒ふるまい」(会場:掃部山公園)に合わせ、ミニ見学会を 2 回実施しました。</p> <p>■12/20 オンライン (ZOOM) で実施 参加者数 50 人</p> <p>■MMcc 参加団体(日産(株))にオンライン能楽講座を実施しました。</p> <p>□町歩き企画からの協賛依頼はありませんでした。</p> <p>■紅葉ヶ丘 5 館連携の担当者ミーティングに 14 回出席、連携事業 1 回、共同事業 4 回を実施しました。バリアフリー見学会への県立音楽堂職員視察と応援(2 人)がありました。</p>
--	---	---

(5) 情報提供及び渉外、広報・プロモーション活動

<p>[目指す成果]</p> <p>情報発信、提供を積極的に行い、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り] 感染症の影響が続くなか、定例の広報活動のほか、公演情報のアーカイブをホームページに公表、またオンラインでのレクチャーやメールニュースの配信を始め</p>
---

るなど、コンテンツの充実と発信強化につとめました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>①施設の紹介</p> <p>②公演、事業の紹介</p> <p>③横浜能楽堂友の会「かもん会」の運営</p> <p>④業務計画書等の公開</p> <p>⑤マスコミ等を中心とした幅広いプロモーションの実施</p> <p>⑥能楽関連の情報、資料の開示</p> <p>⑦公演・講座記録として開館以来の公演等の記録を整理し、「横浜能楽堂アーカイブ」構築の検討</p>	<p>□WEB ページアクセス数</p> <p>トップページ：12,000／月</p> <p>ページビュー：100,000／月</p> <p>□ツイッターフォロワー数：2,400人</p> <p>□年間スケジュール：8,000部</p> <p>□2か月分行事予定「橋がかり」：毎月7,000部</p> <p>□横浜能楽堂友の会「かもん会」会員数：目標 700人</p> <p>□広報資料送付： 新聞・雑誌・テレビ等のマスコミ約100社</p> <p>□新聞、雑誌の掲載：年間24本</p> <p>□動画による広報実施2回以上</p> <p>■電話やメールでの問い合わせに対して迅速に回答します。 (日本語、英語)</p> <p>□「横浜能楽堂アーカイブ」について、前年度に公開した「横浜狂言堂」に引き続き他公演分について追加公開します。</p>	<p>□アクセス数</p> <p>トップページ：10,404／月</p> <p>ページビュー：48,104／月</p> <p>□ツイッターフォロワー数：3月末で2,791人</p> <p>□年間スケジュール：10,000部</p> <p>□2か月分行事予定「橋がかり」：毎月6,500部発行</p> <p>□横浜能楽堂友の会「かもん会」会員数：626人(3月末現在)</p> <p>□広報資料送付：計画通り100社に送付しました。</p> <p>□新聞、雑誌の掲載：年間17本</p> <p>□動画による広報を8回実施しました。</p> <p>■達成指標のとおり、実施しました。</p> <p>□横浜能楽堂アーカイブとして平成8年度～平成11年度、令和2～3年度までの公演データを公開しました。</p> <p>・11月から新たにメールニュースを配信しました。毎月1回、計5回、各回5,000名のチケット会員に公演や周辺情報を提供しました</p> <p>・地域の大学との連携として、神奈川大学国際日本学部の講義において能楽師各1名を招いての能狂言のレクチャー(2日間)を行いました。また、神奈川大学国際センターと連携し、外</p>

		国人に向けた能狂言に関するオンラインレクチャーを行いました。
--	--	--------------------------------

(6) 館内展示及び収蔵品の管理の実施

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に実施します。</p> <p>[成果についての振り返り] 収蔵品の管理は業務の基準に従い、適切に実施しました。展示事業として特別展として開館からの舞台写真を館内各所に展示し、25年間の軌跡を紹介する展示を行いました。</p>		
<p>[取組内容] ①常設展の開催 ②特別展の開催 ③収蔵品の管理 ④展示の和文・英文表記の充実</p>	<p>[達成指標] □常設展開催 年2回以上、観覧者数4,500人 □特別展 開催1回、観覧者数3,000人 ■収蔵品を適切に管理します。 ■常設展・特別展の英文表記を実施します。</p>	<p>[実施内容と達成状況] □常設展1回開催、観覧者数5,934人 □特別展「開館25周年記念写真展」 観覧者数4,072人 開館25周年を記念して、開館から現在までの舞台写真の中から、主だった公演の様子や名手たちの舞台姿61点をパネルにして館内各所に展示しました。現在では故人となった役者も多く、その舞台姿を懐かしむ来場者が多くみられたほか、新たに来場した方にはこれまで横浜能楽堂が行ってきた事業や、能・狂言の作品のバリエーションの広さをしてもらうきっかけになる展示となりました。</p>

4 収支計画及び指定管理料

(1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え方

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に運用します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>		
<p>[取組内容] ①適切な料金設定</p>	<p>[達成指標] ■学校鑑賞会利用における半</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p>

<p>②利用状況に合わせた支払方法</p> <p>③条例及び施行規則に基づく減免等の運用</p>	<p>額減免の導入</p> <p>■児童、生徒、学生の見学会の全額減免</p> <p>□減免についてのマニュアルの作成</p> <p>(料金設定・支払方法等は、2(1)のとおり)</p>	<p>■達成指標のとおり、実施しました。</p> <p>■達成指標のとおり、実施しました。</p> <p>□達成指標のとおり、実施しました。</p>
--	---	--

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[目指す成果]</p> <p>限られた経営資源を適切に配分するとともに外部資金を積極的に導入することで経営を安定化し、施設で収支バランスをとれる状態とします。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>緊急事態宣言などによる公演やお稽古控えなどもあり、自主事業収入、利用料金収入は目標に対しそれぞれ、81%、87%の達成でした。助成金は、予定していた事業の翌年度への変更などにより減少していますが、新たな助成金も獲得し、事業収入の減少を補いました。撮影利用、プライベート見学会料金、<b>ちらし</b>封入サービスなど、現状の資源を活用し、外部資金の獲得に努めました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①自主事業収入・利用料金収入の安定的な確保</p> <p>②助成金、寄付金の確実な獲得</p> <p>③協賛金収入の獲得</p> <p>④貸館における友の会会報へのちらし封入サービス等の提供</p> <p>⑥貸館公演におけるチケット作成代行、販売代行サービス等の提供</p> <p>⑦撮影料金の運用</p> <p>⑧オリジナル商品の開発及び販売</p> <p>⑨事業収支の健全性の基準設定及びそれに基づく適切な計画</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□利用料金収入 14,800 千円</p> <p>□日本芸術文化振興会等の助成金獲得 23,000 千円</p> <p>□協賛金・寄付金収入の獲得 50 千円</p> <p>■貸館の手引きにより、ちらし封入サービス、チケット作成、販売代行の有料サービスの提供周知を図ります。</p> <p>■設定された撮影料金に基づき運営します。</p> <p>■オリジナルショップ商品開発を検討します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□12,843,150 円</p> <p>□日本芸術文化振興会 9,384 千円</p> <p>AFF 5,100 千円</p> <p>文化施設の感染拡大予防 174 千円</p> <p>□協賛金 2 件・寄付金 3 件 合計 105 千円獲得</p> <p>■達成指標のとおり、実施しました。</p> <p>■達成指標のとおり、実施しました。</p> <p>■ショップクローズ中のため、実施せず。</p>

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減を目指します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減を行いました。合わせて資源の有効活用、環境への</p>
---

配慮、職員のワークライフバランス確保に繋がりました。		
<p>[取組内容]</p> <p>①発注・事務処理、施設・設備管理等の留意による経費削減等効率的運営の努力</p> <p>②適切な人材配置及び超過勤務の削減及び職員のワークライフバランスを図ること等による人件費削減の努力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ちらし作成枚数の精査し廃棄数を減らし、印刷費を適切に執行します。</p> <p>■不急案件の発注をまとめて行うことにより、事務の効率化や経費の削減を行います。</p> <p>■施設利用状況を踏まえた職員配置を徹底し繁忙時の利用者対応を強化すると共に、超勤時間のコントロールを行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■引き続き公演ごとの部数を精査して作成しました。</p> <p>■消耗品の発注を計画的に行うことで、事務の手間を省き、配送料や振込手数料の節約を行いました。</p> <p>■超過勤務は事前申請を徹底しました。有給休暇は全員が年5日間以上取得しました。</p>

## 5 P D C Aサイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日報及び月間業務報告書の作成・管理</li> <li>・業務計画書及び業務報告書の作成・管理</li> <li>・業務評価(モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施)</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>■遺漏ない作成を行います。</p> <p>■遅滞なく業務評価を実施します。</p>	<p>■遺漏なく作成しました。</p> <p>■遅滞なく業務評価を実施しました。</p>
---	--	--

## 6 留意事項

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険及び損害賠償の取扱い</li> <li>・関係法令等の遵守</li> <li>・市及び関係機関等との連絡調整</li> <li>・近隣対策の実施</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>■関係法令等を遵守します。</p> <p>■業務の基準に従って適切に行います。</p>	<p>■関係法令等を遵守し運営しました。</p> <p>■業務の基準に従って適切に行いました。</p>
---	--	---

令和3年度 「横浜能楽堂」 収支予算書及び報告書

(指定管理者が記入する様式)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	R3予算額 (指定管理)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	176,485,000	0	176,485,000	176,485,000	0	横浜市より
利用料金収入	14,800,000		14,800,000	12,843,150	1,956,850	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0	0	0	
自主事業収入	28,466,000		28,466,000	22,893,253	5,572,747	感染症対策による販売席数抑制等の影響
雑入	15,966,000	0	15,966,000	16,577,698	△ 611,698	
自動販売機手数料	350,000		350,000	143,988	206,012	感染症対策による来館者数減のため
その他 (コピー代、炭代)	403,000		403,000	145,224	257,776	コピー代、炭代、ゴミ処理代等
その他 (助成金)	15,163,000		15,163,000	14,947,000	216,000	国庫補助金収入も含む
その他 (企業協賛金、寄付金)	50,000		50,000	105,000	△ 55,000	
その他 (撮影利用収入、足袋クリーニング代等)	0		0	807,402	△ 807,402	
その他 (事業負担金収入)	0		0	429,084	△ 429,084	文化芸術教育プラットフォーム事業、「かもんやま能」チケット販売手数料
<b>収入合計</b>	<b>235,717,000</b>	<b>0</b>	<b>235,717,000</b>	<b>228,799,101</b>	<b>6,917,899</b>	

支出の部

科目	R3予算額 (指定管理)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>87,668,000</b>	<b>0</b>	<b>87,668,000</b>	<b>82,004,790</b>	<b>5,663,210</b>	
給与・賃金	71,524,000		71,524,000	67,009,068	4,514,932	
社会保険料	10,069,000		10,069,000	9,499,391	569,609	
通勤手当	2,482,000		2,482,000	2,165,028	316,972	
健康診断費	139,000		139,000	87,965	51,035	
勤労者福祉共済掛金	0		0	20,000	△ 20,000	
退職給付引当金繰入額	3,454,000		3,454,000	3,223,338	230,662	
<b>事務費</b>	<b>9,970,000</b>	<b>0</b>	<b>9,970,000</b>	<b>7,956,150</b>	<b>2,013,850</b>	
旅費	400,000		400,000	86,140	313,860	感染症拡大防止のため、国内外の出張を見合わせました。
消耗品費	1,700,000		1,700,000	1,441,429	258,571	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	250,000		250,000	139,350	110,650	
通信費	2,330,000		2,330,000	1,081,780	1,248,220	
使用料及び賃借料	1,950,000	0	1,950,000	1,759,546	190,454	
横浜市への支払分	10,000		10,000	0	10,000	
その他	1,940,000		1,940,000	1,759,546	180,454	
備品購入費	0		0	386,540	△ 386,540	感染症対策用オンラインチケットシステムに使用する備品等
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000	59,340	660	
職員等研修費	30,000		30,000	3,000	27,000	
振込手数料	550,000		550,000	330,165	219,835	
リース料	1,180,000		1,180,000	1,179,792	208	
手数料	450,000		450,000	151,706	298,294	
地域協力費	0		0	0	0	
広告宣伝費	900,000		900,000	1,223,074	△ 323,074	
負担金 (会費)	0		0	0	0	
雑支出	170,000		170,000	114,288	55,712	
<b>事業費</b>	<b>45,702,000</b>	<b>0</b>	<b>45,702,000</b>	<b>38,398,904</b>	<b>7,303,096</b>	
<b>管理費</b>	<b>68,700,000</b>	<b>0</b>	<b>68,700,000</b>	<b>67,633,810</b>	<b>1,066,190</b>	
光熱水費	12,300,000	0	12,300,000	12,370,604	△ 70,604	
電気料金	7,800,000		7,800,000	10,210,929	△ 2,410,929	
ガス料金	3,250,000		3,250,000	1,717,359	1,532,641	
水道料金	1,250,000		1,250,000	442,316	807,684	
清掃費	0		0	0	0	設備保全費に含む
修繕費	2,700,000		2,700,000	2,951,828	△ 251,828	
機械警備費	0		0	0	0	設備保全費に含む
設備保全費	53,700,000	0	53,700,000	52,311,378	1,388,622	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
消防設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
電気設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
駐車場設備保全費	270,000		270,000	264,000	6,000	機械式駐車場点検
その他保全費	53,430,000		53,430,000	52,047,378	1,382,622	建物総合保守、清掃警備委託、舞台操作委託費を含む
共益費	0		0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>7,290,000</b>	<b>0</b>	<b>7,290,000</b>	<b>8,721,727</b>	<b>△ 1,431,727</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	7,224,000		7,224,000	8,652,800	△ 1,428,800	
印紙税	50,000		50,000	51,080	△ 1,080	
その他 (法人住民税)	16,000		16,000	17,847	△ 1,847	
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>16,387,000</b>	<b>0</b>	<b>16,387,000</b>	<b>16,387,000</b>	<b>0</b>	
本部分	16,387,000		16,387,000	16,387,000	0	事務局積算による数値
当該施設分	0		0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>235,717,000</b>	<b>0</b>	<b>235,717,000</b>	<b>221,102,381</b>	<b>14,614,619</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,696,720</b>		